

第123号 令和2年5月1日発行

あまうが通信

あまうが(アモーガ)とは真実

発行所 ひょうたんでら融通尊寺 〒651-0093 神戸市中央区二宮町4-8-14

電話078-221-5136

発行人 住職 宇喜多 智弘(うきた ちこう) メール yuzusonj@gmail.com

FAX 078-221-9256

HP www.yuzusonji.or.jp

携帯 090-1480-4400

急ぎお知らせ申し上げます

お寺の毎月の行事、写仏写経と法話会は7月一杯まで中止致します。

神戸のHK文化センターでの住職の『般若心経の講座』も10月からに延期になりました。

5月21日から予定していましたが、融通尊寺の寺宝展、住職の個展も来年に延期致します。



今回のコロナウイルスが教えてくれたこと。遠い国のどこかの街の1人の感染という出来事が、日本はおろか、全世界、地球全体の、人類の生存や健康、繁栄を脅かすという事実です。世界は、地球は、完全につながって影響しあっているのですね。

これは逆に考えると、我々1人1人の感情や思考、祈りが全地球、世界人類に影響を及ぼすと言えるのではないのでしょうか？

そこで ご提案です。今の時期不要不急の外出は自粛せねばなりません。いつもより時間が余ってきたとしたら、或いは時間が余らなくても、一日も早いコロナ災害収束のために…裏面へ

…表面より 少しでも、一日に五分でも三分でも、我々の祈りを捧げてみませんか？

みんなのために祈る事が、自分と家族の幸せにつながる。これはコロナウイルスと、コロナの犠牲者の方々が教えてくれた事だと思うのです。

お祈りの方法はシンプル単純です。2,600 年前からお釈迦様が、人類の疫病に対して行って来られた祈りです。

同封しました黄色い御札は、そのお釈迦様の疫病封じの『仏説却温黄神咒経』【ぶっせつきやくおんおうじんじゅきょう】の エッセンス秘要が祈り込んであります。住職もお参りが激減して時間が余った分を、今まで以上にお祈りに投入しております。この黄色い御札を玄関や出入り口の目線より高めの位置に、絵が表に見えるように貼り付けてください。

そうして

あとは仏壇や、神棚の前で、それがない場合は、自分なりに家の中で一番落ち着いて祈れる場所で、背骨を立てて、深呼吸をしてください。座っても立っても、寝てもかまいません。背骨が真っ直ぐに伸びているのがコツです。

お唱えする お経文は

①摩訶迦羅天咒（大黒天）

オンマカ キャラヤソワカ 3返

梵天咒

②オンハラジャ ハタエイソワカ 3返

七母女天総咒（七鬼神）

③オンモウチリ ビャクソワカ 3返

何故かという、お釈迦様によると世の中の疫病というのは、七鬼神という者が家に入り込んで、住人の体に害をもたらすというのです。

その対処法は

お釈迦様の教えによると、七鬼神は、名前を知られると、害をなさず去って行くというのです。この① ② ③の経文は七鬼神と、そのさらに上の梵天、大黒天の名前です。

この三つの経文の前に、普段お勤めされておられる、お経を唱えてももちろんかまいません。

『このお経をもっと詳しくお唱えしたい』という方は住職 090-1480-4400 までご連絡ください。

どうかみなさま、お元気で

合掌九拝 智弘